

手は皆が知っているという時代でした。

小学時代は演歌やフォークソング。吉田拓郎、かぐや姫等。中学時代になるとニューミュージックという言葉が出てきました。ユーミン、オフコース等。高校になるとサザンオールスターズ、チェッカーズ、ゴダイゴ等。そして松田聖子筆頭にアイドル歌手の曲も聴いていました。その方たちが今でも現役というのはすごいことだと思います。

私自身の人生で強く心に残っている曲が2曲あります。1曲はサザンオールスターズの「ミス・ブランニュー・デイ」。大学受験のための予備校に通っていた時代に流行っていて、朝起きるとカセットテープで必ずこの曲をかけて一日をスタートさせていました。今でも曲が流れると

受験生時代の苦い思い出がよみがえります。

もう1曲は槇原敬之の「遠く遠く」。広島から上京し、大学を卒業し、広島には戻らないと決意した26歳の時に流行った曲です。歌詞をご存じの方はわかると思いますが、地元を離れる決意をした曲で、自分の境遇が重なり、当時はいっぱい涙が出ました。今でも、どこかで流れていると涙が出そうになります。

皆さんにもそのような曲はありますか？もちろん、私たちの先輩世代にもそういう曲はたくさんあるはずです。

先日、ある高齢者施設をうかがっていた時、童謡が流れていました。30年近く前からこのような施設を訪問していますが、当時から変わらず、童謡、唱歌、演歌です。

ただ、入居されている方が私より20歳上だとすると、「ビートルズ」や「ローリング・ストーンズ」に熱狂し、エレキギターを弾き、アイビールックやミニスカートで銀座を歩いていた世代です。そしてオーディオマニアもいたはずです。音楽には好き嫌いありますが、「高齢者」童謡・唱歌」というのはそろそろ卒業して欲しいですね。

ロックな高齢者施設！出て来い👉

夏休み

今年のふれあい歯科ごとうは、今月14日（金）から17日（月）までお休みさせていただきます。何かありましたら留守番電話にメッセージを残してください。